



● 丹後環境シンポジウム

地産地消と地域連携の促進に向けて

3月26日、丹後の豊かな環境づくり推進会議による「丹後環境シンポジウム ー再発見！ 丹後の環境そして未来へー」が、生涯学習センター知遊館で開催されました。

第1部は、カミヤヅラボ（宮津市）、宇川加工所（京丹後市）、本庄小学校（伊根町）、与謝野町商工会まちグル部の4団体が活動内容を発表。まちグル部代表の岩西拓男さん（クッチーニオーナーシェフ）が、まちグルイベントを始めた経過やこれまでの活動内容、今後の展望について発表されました。

第2部は、福知山公立大学経営学部すざおかひでのりの杉岡秀紀

准教授をコーディネーターに、第1部で活動発表を行った方々によるパネルディスカッションが行われ、活動を行

うに至った経過を深掘りするなど、新たな気づきが生まれる場となりました。参加者は、丹後地域で活動する団体の取り組みを知り、環境保全への意識を高めていました。



活動発表する岩西さん

● 高校生みらい会議最終報告会

学校・市町の垣根を超えた取り組みを報告

3月19日、綾部市ものづくり交流館で、高校生みらい会議最終報告会が開催されました。

本事業は、令和3年度から本格実施したもので、京都府北部への移住・定住促進に取り組む地域連携事業の一環として企画し、若者のふるさとへの関心や愛着をはぐくみ、将来的な人口流出抑制やUターンの促進につなげることを目的として実施されています。

令和3年度の高校生みらい会議は、「学校を超えた7市町の高校生が主役となって今後やってみたいこと」をテーマに、京都府北部5市2町の高校12校が参加。報告会では、約6ヵ月間学校や市町の垣



成果報告する高校生

根を超えて、4つのグループに分かれて意見を交わし、また、実際に地域に出向き「自分たちの考えたテーマはどうしたら実現できるか」について取り組んだ成果を報告しました。生徒たちは各グループの発表後に質問するなど、活発な報告会となりました。

● 旧加悦鉄道加悦駅舎リニューアルオープン

加悦鉄道の魅力がパワーアップ



新たに展示された当時の制服

2号機関車などを保存展示する車庫を建築するため休館していた旧加悦鉄道加悦駅舎が4月16日、再開しました。

再開に当たり、明治期製造の貴重な蒸気機関車と

木造客車を間近で見られるようになり、また、新たに加悦SL広場で展示していたレールコレクションや加悦鉄道で使用されていた当時の制服などが加わりました。当日は親子連れなどで賑わい、訪れた来場者からは「加悦SL広場がなくなったのは寂しいが、また2号機関車を見られてうれしい」との声が聞かれました。施設を管理運営するNPO法人加悦鉄道保存会の吉田博一理事長は「加悦鉄道は与謝野町の誇り。多くの方に見に来てほしい」と話してくれました。

【旧加悦鉄道加悦駅舎（旧加悦鉄道資料館）】

開館 土日祝日の午前9時～午後5時 ※ 入場無料

